

事業所職員向け 児童発達支援 自己評価表

2022年11月実施

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	3	「定員」数では満たしている。適正人数になるよう部屋を分ける。人数が多い時は分けて活動している。子どもの活動量に見合った部屋の広さではない。
	2	職員の配置数は適切であるか	14	1	規定数8名、加算で2名、児発菅1名でよい。適宜連携を取り応援する。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	10	部屋入り口や室内の段差をなくし、間口を広くしてほしい。階段に手すりがほしい。バリアフリーにするには建て替えが必要になる。抱っこ等で対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	2	日々の消毒、修繕等行っている。
事業改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	15		ミーティング、会議、事例検討、研修を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	1	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11	4	第三者委員の活用を今年度はしていないが、連絡できる体制にはなっている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15		オンラインを用いて外部研修等も行っている。月1回研修を行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	15		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15		ガイドラインは職員が見れるようにしてある。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	1	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15		領域担当ミーティングを行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	15		領域担当ミーティングを行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	15		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15		保育を始める前に同じ部屋の職員と打ち合わせをしている。送迎バスに乗る職員とは事前の打ち合わせが難しい時もある。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	3	翌日の朝になってしまうことが何度かあった。契約職員の退勤前に反省を行えるよう意識したい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	14	1	
21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	1		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	15		各子育ての支援課、保健師と連携している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	1	必要がある時に連携を取れる状態になっている。医療的ケアは保護者が行き、面談時に各機関との情報を共有している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14	1	今のところそこまでの必要はない。(1名経管栄養児)保護者からの情報提供を得ている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	1	保護者の希望により申し送り書の作成、訪問しての申し送りをしている。それぞれなため図れていない所もある。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	1	特別支援学校への申し送りをを行い、情報共有を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12	3	直接助言や研修で関わることはあまりない。他事業所がどのような支援内容を行っているのか実際に見てみたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	10	つくもの企画としてはなく、つくのみ利用している子は交流する機会はない。併行利用している子はある。全員で行うことは難しい。併行利用している子が31/55
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	14	1	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	12	3	面談の中で対応の仕方の提案や相談は行っている。親子通園や保護者向け企画を実施している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	15		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	10	父母会はない。行事や保護者向け企画を実施している。行事の中で懇談会を行った。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15		つくもだよりや手紙を配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	15		個別支援計画が他の保護者に行き渡ってしまうことがあった。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	9	コロナにより現在はできていない。
非常時等の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	13	2	保護者を巻き込んでいない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	1	行ってはいるが本当に活かせるかどうか。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	15		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	1	指示書は求めている。

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	1	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	15		